

イギリスのことわざ

1日1つのりんごは医者いらず

りんごにはどんな効果があるのでしょうか

りんごと健康新聞

No. 1

4年1組
村本楓華
H30.1.1

高血圧の予防に

りんごは多く含まれているカリウムがナトリウム(塩分)を体外へは排出してくれる作用があります。

動脈硬化の予防に

よかなコレステロールを血液の中に入れてくれるので、体の外へは排出してくれま

糖尿病の予防に

りんごのせんいは血液の中のコレステロールを下げたり、血糖の上昇をおさえる働きがあります。

貧血の予防

りんごをジュースにして飲むと胃液の分泌を高めて、鉄分の吸収を高めてくれる。貧血の予防に効果があります。

虫歯の予防に

りんごのアップルフェロンという成分には歯に虫歯菌が付きにくくする効果があります。

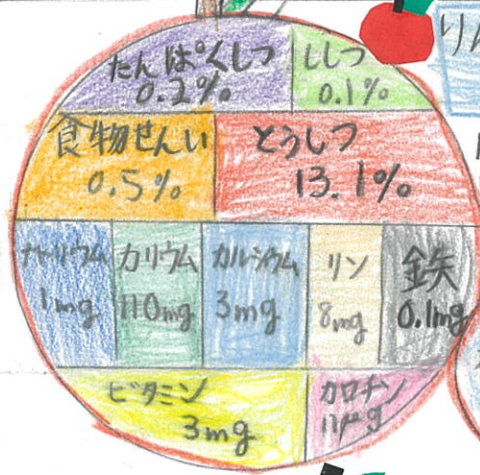
大腸がんの予防に

りんごペクチンが腸内の悪玉菌をへらし、ビフィズス菌を増やし、大腸がんの発生をおさえます。

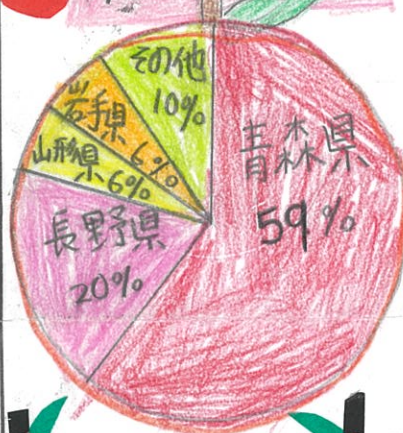
その他

りんごはリンゴ酸やクエン酸も含まれています。リンゴ酸には、はたまたあれをぼうし効果もあるんです。

りんごの成分



りんごの生産地



りんごの品種と生産順位

1位...ふじ 2位...つがる 3位...玉林 4位...ジョナゴールド 千秋、紅玉、陸奥、北斗など品種があります。世界中には、約15000種類があります。日本には、約2000種類あり、市場には40種類ほど出回っています。

ポイント

おいしいりんごの選び方
おしりの方まで色付き
がよい物
重く実のつまった物
甘い香りがする物
形のいい物
づるが太くてみずみずしい物

りんごの色止め

りんごは皮を剥いておいておくとき、茶色くへんしやくしてきます。これは、さんかこうそによる物ですが、ふせぐには、塩水につけるか、レモン汁を加えた水にしたすとふせぐことができます。

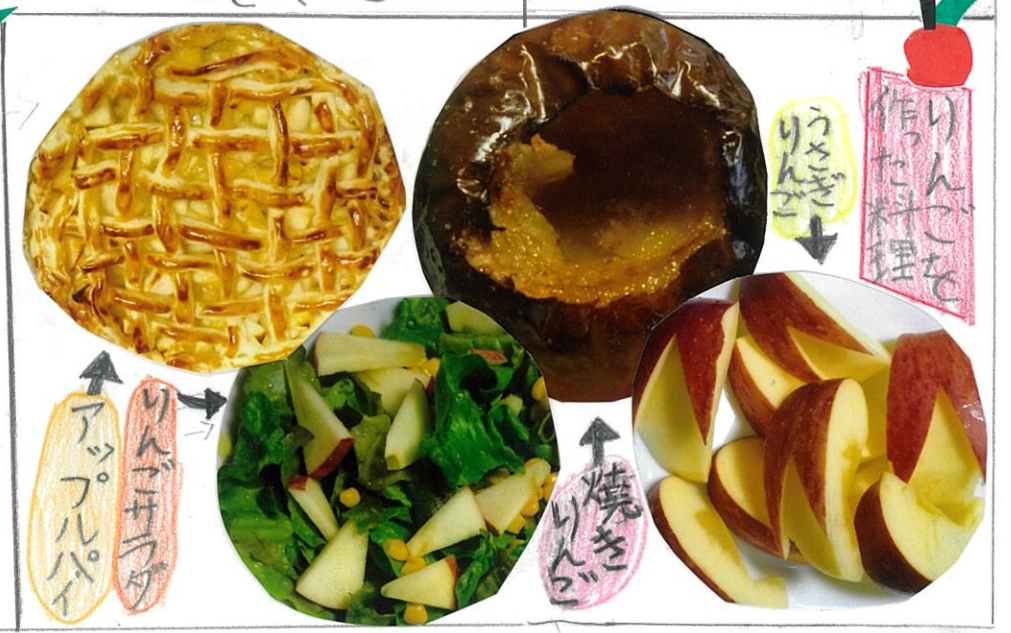
りんごの保存方法

冬などだんぼうが入っていないところ、箱に入れてたままか、新聞紙などで包んでおくこと。1カ月ぐらいは大丈夫です。

りんごの豆知識

りんごが放出しているエチレンガスは、果物をじやくすはたらきがある。青いバナナと一緒にしておくと、バナナは早く赤くなる。一緒にしておくと、バナナは早く赤くなる。一緒にしておくと、バナナは早く赤くなる。

りんごの感想
りんごは体にいいので、毎日食べるのがいい。りんごは体にいいので、毎日食べるのがいい。りんごは体にいいので、毎日食べるのがいい。



健康にこそ食う。